

教育委員会 予算施策体系図

単位:百万円

※括弧内の金額は令和4年度予算額

令和4年度当初予算額	令和5年度当初予算額	増減額	増減率
169,713	170,506	793	+0.5%

1. 学校教育の充実



- ①スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等配置事業 276 (276)
教育相談体制の強化を図るため、心理や福祉に関して専門的な知識を有する人材や家庭環境等の改善を図るため関係機関と連携して支援するための人材を配置する。
- ②キャリア・ビルドアップ事業 304 (290)
キャリア教育の充実を図り、進路決定率の向上を図ることを目的に、生徒の早期進路決定を促進するための支援を実施する。
- ③中部地区への特別支援学校の新設 86 (18)
中部地区の特別支援学校の過密化解消のため、新たな特別支援学校の基本設計を実施する。
- ④公立学校教職員メンタルヘルス対策に関する調査研究事業 20【新規】
教員の精神疾患による病気休職の原因分析を行うとともに、メンタルヘルス対策のモデル事業の実施及び効果検証を行う。
- ⑤学校給食費支援事業 5【新規】
学校給食費の支援のあり方について課題を整理するため、保護者等へ調査等を実施する。

2. 子どもの貧困対策の推進



- ①バス通学費等支援事業 456 (435)
安心して学業に励むことができる環境を整備するため、現行の低所得世帯向けバス・モルレル通学費無償化に加え、遠距離からの通学等で通学費の負担が大きい中所得世帯の生徒を支援する。
- ②高等学校等奨学のための給付金事業 1,389 (1,399)
高校生等がいる低所得世帯を対象に給付金を支給することにより、授業料以外の教育費の負担軽減を図り、教育の機会均等に寄与する。

3. 国際社会・情報社会等への対応



- ①国際性に富む人材育成事業 129 (76)
国際社会で活躍し、沖縄県の振興・発展を担う人材を育成するため、高校生を海外へ派遣する。
- ②ICT推進関連事業 843 (640)
生徒の端末購入費用の支援、教員用・生徒用ICT機器及び回線の整備、それらICT機器の利活用を促進するためのICT支援員の配置などICTを活用した快適な学習環境を整える。

4. 文化の継承・発展



- ①首里城復興事業 90 (152)
史跡「首里城跡」内の城郭や通用門などを保全し、良好な景観を形成・維持することで、琉球の歴史・文化への関心と首里城復興の気運向上を図る。
- ②高校生伝統芸能分野海外就業体験事業 18 (18)
郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイに派遣し、実演家として、郷土芸能を観光資源として活用できる人材育成に取り組む。

5. 生涯学習・社会教育の充実、青少年の健全育成



- ①学校・家庭・地域の連携協力推進事業 73 (73)
地域住民や外部人材等の協力を得て、地域学校協働活動や放課後子ども教室等の取組を通じて、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。
- ②玉城青少年の家改築事業 283 (820)
安全でより充実した社会教育活動を行う場を提供するため、老朽化した「玉城青少年の家」の改築を実施する。